

軸流送風機 製品評価データシート 1【品質性能概要】 <評価基準>

	項目	単位等	評価基準	事由
0.基本事項				
	形式名		申請機種一覧表と適合している	評
1.適用範囲				
	種類		申請機種一覧表と適合している	仕
	接続ダクト径	mm、mm φ	800mm φ 以下	評
	温度範囲	℃	-15℃ ~ +40℃	JIS
	形式条件		ベルト駆動形又は電動機直動形	仕
2.性能				
2.1 試験成績表	JIS B 8330(送風機の試験及び検査方法)による試験成績書を提出		提出されており、適合している	JIS
	JIS B 8346(送風機及び圧縮機騒音レベル測定法)による試験成績書を提出		提出されており、適合している	JIS
3.構造				
3.1 構造図、外形図等				
	外形図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の表10	JIS
	構造図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の図6	JIS
3.2 ケーシング				
	羽根外径	mm		
	板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表3による	JIS
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類		製造者標準	仕
3.3 羽根車				
	釣り合いの良さの等級(JIS)	mm	JIS B 0905(回転機械-鋼製ローターの釣り合い良さ)の参考付表1 G6.3以内	JIS
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類		製造者標準	仕
3.4 主軸				
	太さの安全率		危険速度が使用最大回転数の約1.3倍以上	JIS
	危険速度	rpm	製造者標準	評
	使用最大回転数	rpm	製造者標準	評
3.5 軸受				
	軸受種類		原則として転がり軸受	JIS
	軸受け潤滑油補充できる構造の有無		補充できる構造を有している	仕
	軸受け潤滑油種類		グリース(JIS K 2220)または同等品	JIS
	軸受け密封方式		シール軸受けまたはシールド軸受け	仕
3.6 Vベルト車	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルト車溝部形状の規格		JIS B 1854(一般用Vスリーブ)又はJIS B 1855(細幅Vスリーブ)による	JIS
3.7 Vベルトガード	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルトガードの取付の有無		取付	仕
3.8 共通ベッド				
	軸受・共通ベッドの材料種別		形鋼又は鋼板	JIS
	軸受・共通ベッドの接合加工種別		溶接加工	JIS

	項目	単位等	評価基準	事由
4.材料				
4.1 ケーシング			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.2 吸込コーン			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.3 羽根車主 板側板 及び羽根			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG3131のSPHC、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISH4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条) JISH5202(アルミニウム合金鋳物) 合成樹脂	JIS
4.4 羽根車 ハブ			JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISH4040(アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線)、JISH4140(アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品) JISH5202(アルミニウム合金鋳物)	JIS
4.5 羽根車ス テー・ボルト 及びナット			JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C、JISG3452(配管用炭素鋼鋼管)	JIS
4.6 ベッド			JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3350(一般構造用軽量形鋼)のSSC400、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	JIS
4.7 主軸			JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C以上のもの	仕
4.8 キー			JISG4051(一般構造用圧延鋼板)のS45C	JIS
4.9 軸受箱			JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.10 Vプーリ	(Vベルト駆動の場合)		JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.11 材料証明 (ミルシート)				
	本体		提出、規格に適合	評
	羽根車		提出、規格に適合	評
	主軸(電動機直動形は除く)		提出、規格に適合	評
5. 電動機			標準仕様書「誘導電動機の規格及び保護方式」「誘導電動機の始動方式」による ただし、電動機直動形は製造者標準仕様	仕
5.1 電動機 の規格				
	名称		単相誘導電動機、三相誘導電動機	仕
	規格番号		JISC4203(一般用単相誘導電動機)、JISC4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機)(0.75kW未満に限る)、JISC4212(高効率低相三相かご形誘導電動機)(0.75kW未満に限る)、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機-低圧トップランナーモータ) 製造者の標準仕様(小形の軸流送風機で電動機直動形に限る。)	仕
	絶縁種別		製造者標準(E種、F種 等)	評
5.2 保護方式				
	屋外		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋内(多湿箇所)		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋内(その他)		JIS C 4034-5(防滴保護形)IP22	仕

	項目	単位等	評価基準	事由
5.3	電動機の仕様			
	出力範囲	kW	製造者標準	評
	相・極数	Φ・P		JIS
	始動方式		11kW未満:直入、11kW以上:スターデルタ等	仕
6.	インバータ用制御装置(可変電圧可変周波数制御装置)		特記対応	仕
	インバータ用制御装置の適用の場合			仕
	1)インバータ用制御装置を設ける場合は、次の保護機能を設ける。		電流表示、過負荷及び欠相保護装置は、不要とする。	仕
	①過電流、欠相、過電圧等が発生した場合の電動機停止する保護機能		具備	仕
	②短絡により作動する保護制御機能		具備	仕
	③ストール防止機能		具備	仕
	④継電器等のコイル部のサージ対策		サージキラー等を具備	仕
	⑤制御方式		正弦波パルス幅変調方式又はパルス振幅変調方式	仕
	⑥瞬時の電圧低下対策		自動回復運転機能を具備	仕
	⑦負荷特性に合わせた加減速時間の調整		具備	仕
	2)高調波対策(特記による)		高調波対策の特記が無い場合は、次のいずれかによる。	仕
	①高調波対策		・高調波対策として直流リアクトル等により、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」及び「高調波抑制対策技術指針((一社)日本電気協会)」による換算係数Ki=1.8以下(交流側リアクトルでKi=1.8となる対策を除く)となる対策	仕
			・JIS C 61000-3-2「電磁両立性 - 第3-2部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」が適用された機器	仕
			・基本波力率が1であるときの入力力率が0.94以上のインバータ制御装置	仕
			・基本波力率が1であるときの入力力率が0.94以上となるように、直流リアクトル等と組み	仕
	②高周波ノイズ対策用		入力側に零相リアクトル等を設ける。ただし、インバータ制御装置本体に零相リアクトル等が内蔵されているものは除く。	仕
7.	塗装			
7.1	外面			
	外面塗装種別		製造者標準	評
	外面塗装下塗り回数		製造者標準	評
	外面塗装仕上げ回数		製造者標準	評
7.2	内面			
	内面塗装種別		製造者標準	評
	内面塗装下塗り回数		製造者標準	評
	内面塗装仕上げ回数		製造者標準	評
8.	附属品			
	相フランジ		設置(フランジ方式の場合)	仕
	電源用端子台		設置	仕
	銘板		設置	仕
9.	銘板			
	銘板に表示する内容			承
	1.製造者名		社名	承
	2.形式		製造者標準	承
	3.呼び番号	No, mm	製造者値	承
	4.製造年月		製造年月又は製造年	承
	5.製造番号		製造者標準	承
	6.風量	m ³ /h	製造者値	承
	7.静圧	Pa	製造者値	承

	項 目	単位等	評価基準	事由
	8.回転数	min ⁻¹ (rpm)	製造者値	承
	9.電源	φ ,V,Hz	製造者値	承
	10.電動機出力	kW	製造者値	承
10. 提出書類の 確認				
	承諾函		提出できること	承
	完成図		提出できること	承
	取扱説明書		提出できること	承
	試験成績書		提出できること	承
	基礎ボルト耐震計算書		提出	承 設
備 考				

評価基準の事由

- 仕 : 標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による
- 設 : 設計基準の掲載事項による
- 承 : 機材承諾函様式集の掲載事項による
- 評 : 評価事業による確認事項
- JIS : 日本産業規格の規定による